

1. 活動日時

令和4年8月13日（土）7:30-16:00

2. 活動場所

福井県南条郡南越前町河野地区赤萩

3. 活動の実際

- 7:30 南越前町今庄事務駐車場（ボランティアバスセンター）集合。学生班と合流しボランティアバス受け入れのオリエンテーションを実施。
- 7:55 ボランティアバス到着。バス毎に担当を決め、ボランティアに本日の流れと注意点についてオリエンテーションを実施。
- 10:20 河野地区赤萩に向けて出発。
- 10:40 河野地区赤萩到着。区長に挨拶を行い、集会所にて地区住民の健康観察を実施。また地区を巡回し、ボランティアの健康観察も実施。
- 14:30 赤萩での活動終了し、ボランティアバスセンターに移動。
- 15:00 作業を終了したボランティアの誘導、飲料水の配布を行う。
- 16:00 ボランティアバスセンターでの業務を終了し、旧今庄中学校に移動し、本日の健康観察の結果を保健師に報告し活動終了。

4. 健康上の問題・課題

<ボランティアバス対応>

11日より災害ボランティアバスが福井県により運営されている。本日は、福井県内の各市町より8台が到着し約150名のボランティアが参加した。各バスにて、熱中症の予防について、被災者への配慮についてオリエンテーションを行った。ボランティアバス応募事項にも熱中症予防について書かれていることから、飲料水、塩飴等の準備は十分にされている印象であった。

<河野地区赤萩巡回記録>

健康チェック人数 24名

軽度熱中症 1名（休憩後症状軽快し帰宅）

緊急を要する体調不良者なし

1週間以上が経過し、被災者はかなり疲弊している。水分、塩分摂取の声かけと自己管理により熱中症は予想されたほど出ていない。被災されたほとんどの住民が自宅2階などで寝泊まりしており、今後粉塵や匂いなどによる眼科系、呼吸器系の健康障害が生じる可能性がある。また、睡眠状況も悪く、被災者の中には夜中にうなされていると話された方もおり、劣悪な環境の長期化による精神面への影響も大きくなると考える。

<避難所予定の施設視察>

視察1：めだかの学校（赤萩から徒歩10分の宿泊施設）

- ・7棟のバンガロー施設
- ・5人分のベッド、エアコン、トイレ（様式）、シャワー、電気調理設備が完備

視察2：旧河野中学校（赤萩から5.2km車で10分）

- ・エアコン付き教室に簡易ベッドを設置予定

6. 所感

お盆を前に、被災者の精神面の安らぎを図るため、作業ボランティアは14日で撤退することになった。医療も地元医療の再開に伴い引き継ぎをして活動終了した。集中的な外部支援で、被災住民はいわゆるハネムーン期にあり表面上は活気がある状況であったが、今後一気に外部支援がなくなった際の身体的・精神的疲労が顕在化し、健康障害を引き起こす可能性がある。慢性期にフェーズが変わる今こそ、身も心も休息できるように生活環境を整える必要がある。しかし、現状は近隣に避難所の開設がなく自宅の被災が少ない2階などの部屋で寝泊まりしながら連日作業をしている被災住民が多い。町は、来週にも仮の住まいとなる避難所を開設する予定だが、避難所まではかなり遠いため行きたくないと言う人や、歩いて行ける近隣の宿泊施設を避難所にしてほしいと言う人もいる。区長も住民の意向を汲みなるべく近くのとこで生活できる宿泊施設を避難所にしたと考え町へ希望し、さらに酒井隊員が県議や町長、関係各所と調整した。他の地域との格差（平等性）が出ないように全て公立学校を使用するという事を町としての判断としたとの事であったが、更に検討する予定となった。今回の被災を教訓に今後の福祉避難所のあり方や要配慮者への個別避難計画策定に対する提言を行い、少しでも被災者の生活環境を整えることにつなげることが重要であると考えます。



ボラバスセンターでの活動



集会場での健康チェック



ボランティアへの健康チェック



視察1 近隣の宿泊施設